

# 活動レポート

## 道央技術士委員会

文責：道央技術士委員会 幹事長 長谷川哲也

### 講演会「室蘭～宮古のフェリー就航に向けて」

#### 1. はじめに

道央エリアには、北海道を代表する港湾「苫小牧港」と「室蘭港」があり、海路の要衝として物流や人流を支え、北海道の発展に寄与してきました。

苫小牧港は4社、7航路のフェリーが運航していますが、室蘭港は平成20年の室蘭～青森航路廃止により、フェリー航路が無くなって今年で9年目です。

しかし、10年目を迎える平成30年6月22日(金)には、新たに室蘭と岩手県の宮古市を結ぶ新航路が開設される予定です。この新しいフェリー航路の講演会について、ご報告いたします。

■開催日：平成29年9月1日(金)

■開催場所：公益財団法人 室蘭テクノセンター

■時間：15:30～16:30

■参加者：14名

#### 2. 講演『室蘭～宮古のフェリー就航に向けて』

晴天のウインドファーム見学会の後、和やかな雰囲気の中、田中代表幹事の挨拶から始まりました。



写真-1 参加者と田中代表幹事(左)

講師の西館 武志氏は、室蘭市役所 港湾部港湾政策課に在籍され、7年以上にわたりフェリー航路誘致など港湾振興行政に携わり、今回の誘致決定に活躍されたとお聞きしています。海外出張明けにもかかわらず、ご講演いただきました。



写真-2 西館 武志氏のご講演



図-1 宮古/室蘭航路とリーフレット

#### (1)室蘭港の歴史

室蘭港は、室蘭～森間に定期航路の開設を機に開港され、開港140年以上の歴史を持ち、石炭の積み出しをきっかけに発展してきたそうです。

新函館北斗まで新幹線が延伸され、脚光を浴びている、噴火湾を小型クルーザーで横断する「森蘭(しんらん)航路」(室蘭市一渡島管内森町)と重なるものがあると感じました。

## (2) 室蘭港のトレンド

フェリー航路は無くなったものの、国際拠点港湾(平成 23 年より港格変更)として、室蘭の製造所や製鉄所の石油製品や鉄鉱石の出入りを支えます。

さらに、東日本大震災に派遣された広域防災フロートがあり、噴火湾を挟んだ北海道の災害発生時の迅速な復旧活動支援に備えています。また、ガントリークレーンの更新、パーム椰子殻を燃料としたバイオマス発電所建設事業が計画されています。

道内外の他港湾と同じく、大型客船の寄港が多くなっており、帆船のマスト高で決められた白鳥大橋の桁下の高さ約 54m がネックとなり、どんどん大型化するクルーズ客船には、崎守埠頭を利用して寄港しているそうです。(図-2)



図-2 大型客船の寄港と白鳥大橋

## (3) 室蘭～宮古航路のセールスポイント

魅力は①ドライバーの休息としての 10 時間の航海 ②宮古市を中心に八戸、盛岡、仙台とを結ぶ、三陸復興道路の無料高速ネットワーク供用予定(図-1) ③宮城や、関東圏からの所要時間(丁度良い) ④曜日を設定したダイヤの運航ではなく、1 日 1 往復(1 船)の運航をあげられていました。

## (4) フェリーターミナル改修事業

現在、室蘭港では使用船舶(現、苫小牧～八戸航路のシルバーフィーン)が利用できるように、ターミナルビル改修、人道橋更新、防衝工改修などの工事が開設に向けて急ピッチで行われているようです。

## 3. 講演会参加の感想

確かに、八戸と仙台を縦貫する三陸沿岸道路や宮

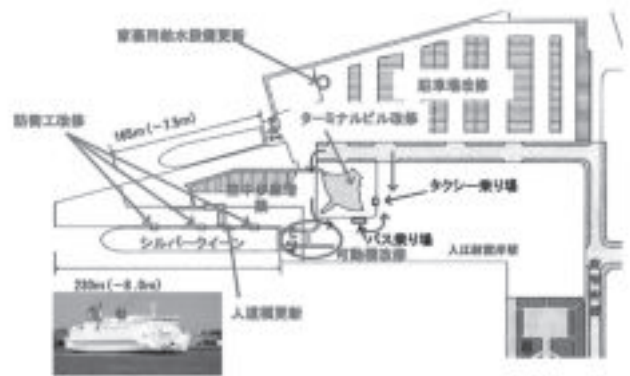


図-3 フェリーターミナル改修とシルバーフィーン

古盛岡横断道路の約 460km の無料高速道路ネットワーク(道内の大沼公園～小樽～岩見沢～十勝清水と同距離)は魅力があり、フェリー就航後にどのような事象(効果)が見られるのか楽しみです。

講演では、街のにぎわい創出、物流をはじめとした観光関連の経済効果、宮古市では復興需要が一段落した後の地域振興の柱となるそうです。課題としては、フェリーの航路開設後の航路継続が重要と西館氏は締めくくられていました。今後は、港湾以外にも観光など宮古市との交流が必要と感じました。

## 4. 懇親会

有志 8 名が集まった懇親会の場で、来年に宮古航路が開設した後は、是非「フェリーに乗って宮古に見学に行こう」という機運が高まりました。



写真-3 宮古の景勝地「浄土ヶ浜(じょうどがはま)」とグルメ

宮古市は人口 5 万人程度ですが、コンサルタント会社もあるので、宮古の技術者との交流会を模索中です。活動レポートをお読みになり、パイプをお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非とも道央技術士委員会へご連絡ください。

## 5. おわりに

講演会場のご提供と講師のご紹介を、快く引き受けてくださった(公財)室蘭テクノセンター 小川課長に心より御礼申し上げます。